



① テクノパーク 豊里

テクノパーク豊里は、周辺に広がる平地林に溶け込むように工業団地全体が緑でつまれている。



② 豊里の杜

豊里の杜住宅地は、地区計画や緑地協定により緑豊かな住宅地とすることに成功している。今後の新しいまちづくりのひとつのモデルであろう。



③ 松見公園の展望塔 からの中心市街地

筑波研究学園地区の中心部には、個性的でありながらも街に調和した建物が多くある。最近ではマンションも増えたが、それらを包む豊富な緑が、街のたたずまいに落ち着きを与えている。



④ 三井ビル19階展望 フロアからの眺望

筑波研究学園都市の中心に位置する三井ビルは高さ87mあり、つくば市一の高さを誇る。自由に入ることができる19階の展望フロアからは、学園都市が一望でき、天気が良い場合は筑波山はもちろんのこと、日光の男体山など北関東の山々を眺められる。



⑤ 松代の落ち着いた ある集合住宅

(上) 単調になりがちな集合住宅の壁面を工夫することで、道路に接して家並みの風情を形成している。小道や中庭が整備されており、変化に富んだ景観となっている。



(下) ゆったりとした敷地に切妻の集合住宅が分散配置され、落ち着いた豊かな景観となっている。



⑦ 二の宮四丁目の 住宅地

この住宅地では、無電柱化が図られ、道・庭・家が一体化した美しい戸建住宅地となっている。



⑥ 筑波西部工業団地

1985年に開催されたつくば科学万博の跡地に造成された工業団地である。緑に囲まれた研究所群は、従来からある工業団地というイメージを覆し、美しい。



⑧ 谷田部の街並み

谷田部は、時代を経た建物が点在する由緒ある街であり、「からくり伊賀」と呼ばれた江戸時代の地元発明家がつくった菅簀の建物の五角堂も保存されている。



① 筑波山山頂からのつくば

ここはつくば市の最高峰 877 m。筑波山山頂からは関東平野が一望できる。筑波山へ向かうつくば道が一本道で続くのが見て分かる。



② 上大島からの筑波山と水田

田植え直後の水田と、西側から見た筑波山。ここまできると女体山が男体山のかげに隠れ、右肩下がりの山岳的な山谷が眺められる。



③ 中貫橋からの筑波山

桜川にいくつもかかる橋からそれぞれに望む筑波山の風景はどれも一見の価値があるが、発達した河畔林と間近に迫った筑波山の取り合わせは、ここが随一であろう。



④ つくば道沿いからの筑波山

つくば道は、神郡集落を抜けるとまっすぐ筑波山神社の方向に向かうが、このあたりまできると山が眼前に迫り、迫力を感じる。



⑤ 学園東大通り 山木からの筑波山

東大通りを学園地区から桜川低地へ降りてくると、筑波山の雄大な眺めが眼前に広がる。



⑥ 小田からの日光連山

旧筑波町からは日光連山がよく見える。雪をかぶった日光連山を、つくばで見ることができたときは感激ものである。



⑦ 北太田からの 筑波山

北太田の水田の中を真っ直ぐ延びる道から見た筑波山はとても雄大である。



⑧ 筑波北部工業団地からの筑波山

緑豊かな北部工業団地からも筑波山の眺望が楽しめる。





9 小田からの 宝鏡山

宝鏡山は通称小田山とも呼ばれ、生活に溶け込んだ里山として人々に親しまれ、特に池越しに見る雑木林の紅葉が何とも美しい。近年、登山道が整備され、ハイキングが楽しめる山となっている。



10 玉取からの 宝鏡山

玉取からは、水田と宝鏡山（小田山）をダイナミックに見ることができる。



11 栗原西部からの 筑波山

この周辺からは、起伏のある畑の向こうに林越しに雄大な筑波山の姿が眺められる。



12 学園西大通りか らの筑波山

研究学園都市の建設により幹線道路が整備され、それらの道路からも、街並みと筑波山を見られるという新たな景観を誕生させた。西大通りからの筑波山も見事な景観である。



13 金田の水田越しの筑波山

水田に水が入り、筑波山とそれに連なる山々が水田越しに雄大に眺望できる。



14 鬼ヶ窪からの筑波山と宝鏡山

ここから見る筑波山と宝鏡山は、並び立って連山の様相を呈する。また、付近の丘陵部と谷部の連続する地形がダイナミックで、どこか信州か北海道の風景を思わせる。



15 面野井からの筑波山

つくばエクスプレスの車窓からも筑波山がしっかり見える、貴重なポイント。



16 面野井からのつくばエクスプレスと筑波山

平成17年に開通したつくばエクスプレスは、つくば市の新しい景観要素である。ここから見ると走る電車が筑波山の懐にすいこまれていくようである。

